

ー KCS-TERRANO IoTシステム ー

多品種少量生産に対応した稼働状況見える化システム

このような方にお勧めです

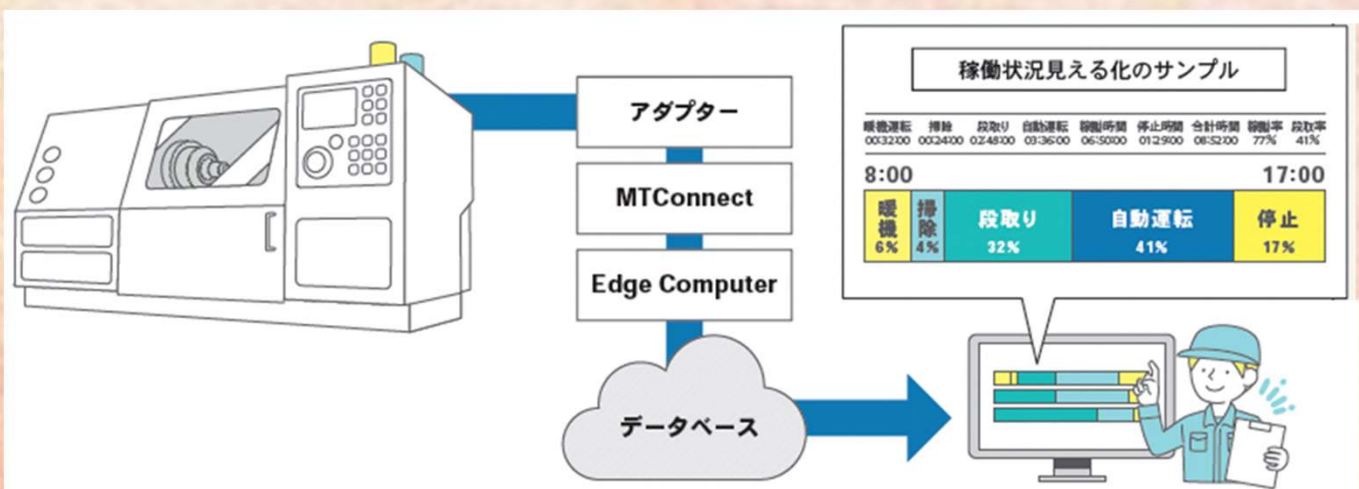
- (1)多品種少量の生産形態で、実加工時間に比べ、加工品の取り換えに伴う段取り、掃除等の時間の占める割合が大きい。
- (2)三色灯等では主として正常運転、異常停止、停止の把握しかできず、段取り、掃除等の作業を分けて把握できる、詳細な稼働状況の見える化を行いたい。
- (3)生産性を上げるため、暖気、段取り、実加工、掃除等の時間を分けて把握し、それぞれの作業の効率化の検討を行いたい。

特徴

- (1)加工機械の運転制御情報をMTConnectを通してエッジコンピューターで読み込み、必要な信号をクラウドに送りデータベース化します。
- (2)取得したデータをもとに、クラウド上で、例えばガントチャート形式や、円分布形式等により、作業の時間推移や、実加工と段取りの割合等の見える化を行います。
- (3)このような見える化により、段取り時間の短縮につなげたり、作業の標準化・効率化による低コスト・短納期の実現や、作業の見直し、技術向上にも活用でき、生産性向上につながります。

導入に際してのお願い

- (1)MTConnectが標準装備されていない加工機械にはオプションで導入していただいたうえで、下図に概略を示したシステムを導入させていただきます。
- (2)得られた稼働状況の見える化に基づき、作業の標準化、効率化、あるいは作業の見直しを検討する担当者あるいはグループを設けることをお勧めします。
- (3)一度に全ての機械のIoT化を考えるよりも、予算に応じ、年次的に少しずつIoT化し、経験を積みながら、稼働状況の見える化を有効に活用していくことをお勧めします。



開発元：長岡IoTイノベーションハブ、(株)KCSおよびテラノ精工(株)による共同開発
販売元：(株)KCS
問合せ先：940-0062長岡市大手通2-6 長岡市商工部産業支援課
shoko@city.nagaoka.lg.jp 0258-39-2222